

特定非営利活動法人 アース・エコ

設立趣旨書

今年2月、京都議定書が発効した。日本は、京都メカニズム等の実施により2008年～2012年において、1990年対比温室効果ガス6%削減の国際公約達成を目指している。

われわれ神奈川県環境学習リーダー・エネルギー会はこの6年間、省エネルギーと新エネルギーの普及と実践活動を通して、地球温暖化防止とライフスタイルの転換に向け行政と小学校及び地域における環境教育・環境学習を実施してきた。具体的には、神奈川県において「親と子の楽しい環境教室」等を開催し、実験と参加型ワークショップにより延べ1000人以上の子どもや成人を対象に、私たちの生活が環境に及ぼしている影響についての気付きと環境保全活動の実践、並びに地球と我々が暮らす地域の未来像提示に貢献してきた。

この間、自治体や団体からその活動が認められ、表彰と補助金等の助成をいただき、ボランティア団体として財政などの基盤を固め、多くのボランティア人材の育成及び技法と手法の蓄積を得て、持続可能性のある環境教育に自信を深めることが出来た。

今後更にわれわれは、地球温暖化の「緩和と適応」に向けより幅の広い活動を継続したい。即ち、行政や地球温暖化対策地域協議会などの受託事業及び行政・事業者・市民そして多くのNGO・NPO法人との協働事業などを行いたいと考えている。これらの環境保全を中心とする地球的視野にたつて、関連する各分野での地域活動を通じ、循環型の自然と共存する地域への提言と実践、そして評価確認作業を行うことを希求し、有形無形の資産を引き継ぎ更に発展させるために、この法人を立ち上げることにした。

平成17年10月2日

特定非営利活動法人 アース・エコ

設立者代表 北村 博子